



小雀公園 里山通信



Vol.39 ホタルの出現状況2026



小雀公園ではヘイケボタルが生息しているのですが、主に観察できる場所が門扉で閉ざされている「生きもの保護区(通称:ホタルの里)」内になるので、ホタルが飛び交う時期は園路の夜間開放を行っています。今年は昨年と同時期の6月14日から7月13日まで開放していましたが、昨年よりも羽化が早かったようで、開放前の下見の時点でだいぶ飛び始めているなと思いました。いつもだと開放直後はチラホラ程度なんですけどね。

それにしても今年はホタルの発生数が非常に多く、見ごたえがありました。私は10回ほど飛翔数と発生場所の調査をしましたが、昨年の倍近くの数が見られたと思います。ちなみにそんなことにならないことを願いつつ、水質汚染や土砂災害でホタルが絶滅したときに備え、事務所でホタルの人工飼育をしているのですが、水辺で幼虫を見つけてつかまえるのは不可能なので、卵から幼虫をかえらせて育てるために、卵を産ませるための成虫の捕獲を行いました。その際に園路からは見えない地際などにも無数のホタルが確認され、皆さんが見ているよりも、はるかに多くのホタルが生息しているのがわかり、とても驚くとともにうれしく感じました。

ちなみに今年のホタル発生数はこんな感じで、一番多く確認をした6月30日の発生場所はこのような感じでした。私は重複してカウントしないようにしているので、見る人によってはもっといたと感じるかもしれません。出始めはヨシ原上流のほうが多いたいますが、日が経つにつれ中流での出現が増えてきます。毎年そんな感じなのですが、同じ小雀公園のヨシ原に生息するヘイケボタルなのに、出現時期がずれるのはなぜなのでしょうね。

来年もたくさんのホタルが見られるよう、管理作業を頑張りますので応援してくださいね！

6/9	20 頭	6/11	48 頭	6/16	57 頭	6/19	86 頭	6/23	59 頭
6/25	72 頭	6/30	103 頭	7/2	54 頭	7/7	68 頭	7/9	78 頭



卵からかえった幼虫は
こんなに小さいんです！



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
 横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

